

ファーストフード店における Web 注文システム

035214 橋口大輔

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

ファーストフード店の注文方法の現状は、客がカウンターに来て紙のメニューなどを眺めて注文を決めるというもので、注文を考えている間に他の客が後ろに並ぶと、後ろの客が気になってじっくり注文を考えられない。その結果、商品全体を把握することは困難であり、注文時に気づかない商品がでてくる。更に、気づかなかった商品の中に、注文した商品よりも好みの商品がある場合、注文を後悔する問題がある。また、予約注文は電話のみであり、営業時間外などでは利用することができない。こうした問題を解決するために、注文方法に着目して、Web 注文システムを開発した。

2. システムの概要

本システムは、Apache, PHP, MySQL を使用して構築した。トップ画面(図1)はフレームで3つに分割し、左から検索メニュー画面、お好み検索画面及び商品選択画面、買い物かご画面に分かれている。バーガー類などの分類検索に加え、カロリーや原材料など独自に設定した条件で検索できるお好み検索機能を備え、好みの商品を簡単に検索することができる。検索後、表示された商品の中から商品を選択し、買い物かごに追加した後、注文送信画面に移り注文完了となる。その際、ユーザーの名前、電話番号、来店日時を入力することで、注文の予約もすることができる。画面遷移図を図2に示す。

3. 評価

実際に3人の方にシステムを使って頂いて、アンケートにより評価した。アンケートの結果、店の利用頻度に依らず、好みの商品を注文でき、後悔もほぼなかったことがわかった。また、電話よりも気軽に使えるといった意見も頂いた。注文時間の計測では、40秒から3分と短く、操作が簡単であるということもわかった。しかし、現段階では単品のみに対応なのでセットの組み合わせや、期間限定商品の表示など、改善案も得られた。

4. おわりに

本システムを使うことで、後悔せずに注文できること、並ばずに注文できること、いつでも簡単に注文できること、という3つの目標を達成することができた。しかし、購入意思が無くても、いたずらで大量に注文できてし

まうので、実用化するためにはセキュリティの面などで課題は残されている。

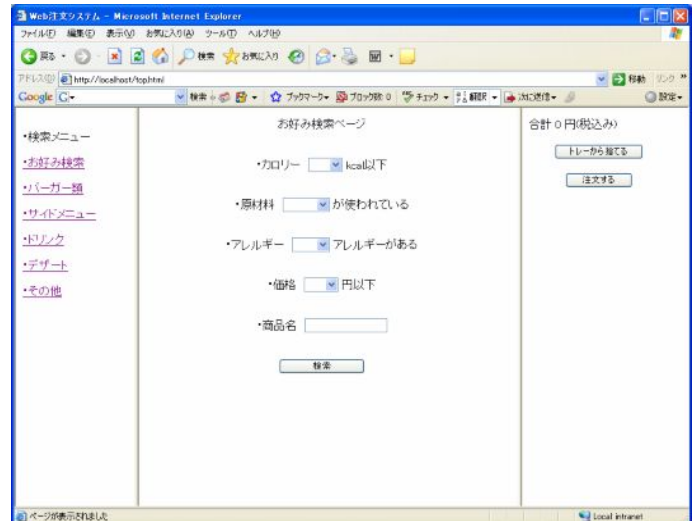


図1. トップ画面

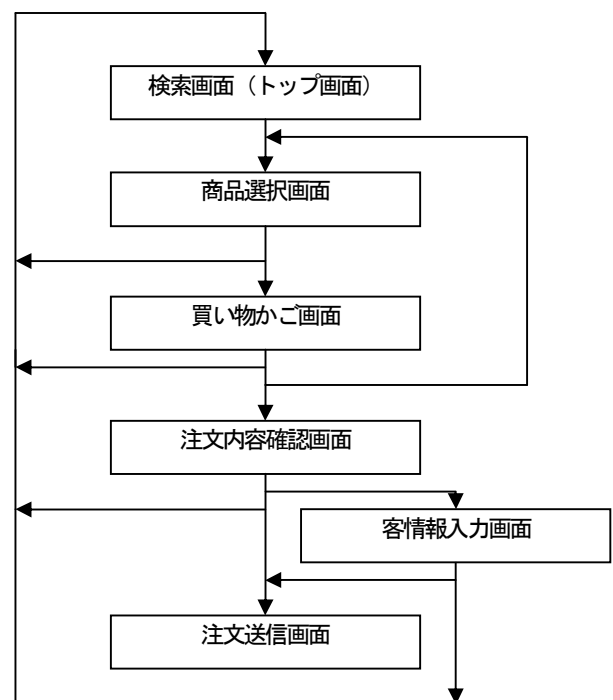


図2. 画面遷移図